千葉市美術館開館30周年記念

千葉市美術館は、11月3日㈷に開館30周年を迎えます。30年のあゆみを、美術館の所蔵するコレクションを中心に特別な編成で展示していきます。

浮世絵から現代美術までの名品の数々を、1年を通してお楽しみください。

問市美術館 ☎221-2311 FAX221-2316

5月30日㈮～7月21日㈷

江戸の名プロデューサー 蔦屋重三郎と浮世絵のキセキ

今年の大河ドラマの主人公でもある蔦屋重三郎は江戸の出版界に彗星の如く現れ、斬新な作品を次々と世に送り出しました。本展では蔦重が活躍した「浮世絵の黄金期」を中心に、初期浮世絵から江戸時代後期までの美人画や役者絵の名品の数々によって、浮世絵史を総覧できます。

同時開催「日本美術とあゆむ―若冲、蕭白から新版画まで」

東洲斎写楽《三代目大谷鬼次の江戸兵衛》1794年　千葉市美術館蔵

8月2日㈯～10月19日㈰

千葉市美術館と現代美術

草間彌生《最後の晩餐》
1981年　千葉市美術館蔵　©YAYOI KUSAMA

千葉市美術館での現代美術のあゆみを、草間彌生、河原温、田中敦子、杉本博司、辰野登恵子らによる重要なコレクションを通じて紹介します。市指定文化財であるさや堂ホールでは、過去の企画展を再現したインスタレーション（特定の空間や場所全体を作品として表現する現代美術の表現手法）を行います。

11月1日㈯～2026年1月8日㈭

千葉美術散歩

洋画家・堀江正章が指導を行った旧制千葉中学校、ビゴーの滞在で知られる稲毛、田中一村が住んだ千葉寺町、戦後の千葉のアートシーンの拠点となった国松画廊などを関連する作品とともに紹介し、千葉市美術館のある「場」を捉え直します。

ジョルジュ・ビゴー《稲毛海岸》
1903年　千葉市美術館蔵

葛飾北斎《枝垂桜に鷽》1834年頃
ロードアイランド・スクール・オブ・デザイン蔵
Courtesy of the RISD Museum,Providence,RI.

2026年1月17日㈯～3月1日㈰

ロックフェラー・コレクション花鳥版画展 北斎、広重を中心に

アメリカ東海岸の美術大学ロードアイランド・スクール・オブ・デザインに所蔵される、資産家ジョン・ロックフェラーの妻アビー・オルドリッチ・ロックフェラーによるユニークなコレクションから、葛飾北斎、歌川広重らによる選りすぐりの花鳥版画約160点を展示します。